

## 平成 30 年度 園芸特産業関係功労者表彰 受賞者功績概要

### 1 小林 守 正（佐久穂町）

- 地域の花き振興の観点から J A と連携し、率先した仲間づくりと研鑽により新品目（トルコギキョウ）の導入を進め、短期間での産地化に貢献した。  
（佐久穂町でのトルコギキョウ栽培者 H20以前 3名 ⇒ H24 25名）
- 新規栽培者の定着に向け、遊休ハウスや水稻育苗ハウスの幹旋仲介など、床づくり用管理機の導入と無償貸し出しなど、新規に取り組みやすい環境整備も積極的に進めた。
- 栽培 3 年目には信州フラワーショーで県知事賞を受賞するなど、栽培技術の向上にも熱心に取り組んだ。

### 2 農業生産法人（株）今井恵みの里（松本市）

- 道の駅施設を拠点に「買ってもらえる農産物」の生産という明確な目標のもと、直売、食堂、体験、加工事業に取り組み、地域の多品目に渡る園芸品目の振興に貢献した。
- 直売事業では、開業時から出荷者数と品目、売り上げは大幅に伸び、短期間のうちに近隣の先行施設と比肩する実績となった。  
（出荷者数 H21：160 人 ⇒ H29：470 人、300 品目）  
（売上額 H21：15,249 万円 ⇒ H29：58,969 万円）
- 小中学生、首都圏高校生に対する農業体験を継続的に受け入れることにより、リピーターの確保や、体験が縁での I ターン就農者の確保など特徴的な成果を得ている。
- 当期利益の一部を生産拡大、意欲向上に向けた独自支援に拠出するなど先駆的な取り組みを行っている。

### 3 内鎌のかんぴょうを守る会（池田町）

- 地域固有の信州の伝統野菜「内鎌ゆうがお」の栽培から、「内鎌のかんぴょう」の生産まで一体的な品目として伝統技術の伝承と有効活用にご貢献した。
- 手引き、菰の上での天日乾燥など伝統的な「かんぴょう」生産の技法も、講習会等の開催により積極的に伝承に努めている。
- 地域で愛される食材として、「レシピ集」の作成や、町の伝承する味として講習会等でも活用され、人的交流も生まれ食文化が守られている。

### 4 高山村ワインぶどう研究会（高山村）

- ワインぶどうの振興により、村の目指す付加価値の高い魅力ある農業の具現化にご貢献した。
- 生産者、栽培面期の拡大は、村の遊休荒廃地発生防止に対しても寄与している。  
（栽培面積・生産者数 H17：3.1ha、3名 ⇒H29：50ha、28名）
- 技術研究、専門家の助言等品質向上に努め、ワイナリーからの村産ワインぶどうの評価が高まりブランドが推進されている。
- 研究会は、I ターンも含め多くの人々により、ブドウの品質の向上に加え、ワイナリーの設立も続くなど、ワインぶどうを核にした村の園芸振興に寄与している。